



8月5日
東地申 12号

2020年度ダイヤ改正検証についての申し入れ

【東京車掌区】を行う!

ダイヤ改正から5カ月が経過し、職場では安全・安定輸送を心掛け奮闘をしています。今ダイヤ改正においても乗務員勤務制度の見直しによる「多様な働き方の実現」「効率性の更なる追求」を基に行われています。東京地本は、組合員が安全・健康・ゆとりを確保したうえで、働きがいを実感できるダイヤ改正としていくために、設備面を含めた作業環境の実現を求め各分会において検証運動を展開してきました。

「新型コロナウイルス」の感染拡大に伴い、多くの線区で利用者が減少している最中でのダイヤ改正となりましたが、私たちはエッセンシャルワーカーとして安全の確保を第一に公共交通機関としての社会的責務を果たしています。しかし、乗務員勤務制度の見直しにより、効率性が追求された乗務員の業務量は変わるものではなく、むしろ安全やサービス品質の低下に対する精神的負担も高まっている中で業務をしていると言っても過言ではありません。

ダイヤ改正の検証を通じて、次期ダイヤ改正では各系統や各線区で抱えている課題を解消することで、鉄道の安全と組合員の健康・働きがいを実現するために東京支社に対し以下の申し入れを行いました。

1. 平日12行路が長時間勤務のため、12行路便乗1846E～1569Eを31行路の前に付け、31行路便乗1853E～便乗1576Eを22行路1552Eの後に付け、改善を図ること。
2. 227行路・229行路における長時間乗務の是正と、平日11行路の東京場面での乗り継ぎ僅少を改善すること。
3. 東京駅総武B4フロアに喫煙所を増設すること。
4. 207行路の出勤時間を下げることを求めたが、その後どのようなようになったのか明らかにすること。また、日勤8時30分以降の出勤を基準とし、前後の出勤を同数とすること。
5. ジャパンレールパスWeb販売サービス開始に伴い、ジャパンレールパスが指定席券売機と自動改札機対応となることを踏まえて、利用者に対して指定席事前交付の周知を実施すること。
6. お客さまに安心してご利用いただけるよう「成田エクスプレス」「サンライズエクスプレス」の新型コロナウイルス対策について具体的対策をとること。
7. 2047Mは千葉以遠において運転時分が詰まっているため、30秒から1分遅れが常態化している。そのため、2047Mにおける千葉～成田空港間の運転時分を見直すこと。
8. E261系サフィール踊り子で発生している「4号車のヌードルバーの水回り」「車内秩序の維持」等の問題を解決すること。
9. 成田空港駅、空港第2ビルに設置されているロープ式昇降柵について現場では故障がほとんどないとされているが、E217系では通信不良が発生し、分離モードでの取扱いがたびたび発生している。ロープ式昇降柵の成果と課題を明確にし、オリンピック・パラリンピックを見据えた対策を講じること。